

平成22年度図書館情報メディア研究科プロジェクト研究 研究成果報告書

|   |                                 |        |                     |       |
|---|---------------------------------|--------|---------------------|-------|
| 種 目   | 萌芽研究                            |        | 研究代表者<br>氏 名        | 呑海 沙織 |
| 研究課題  | 大学図書館における学習支援空間に関する人的資源活用モデルの構築 |        |                     |       |
| 研究組織（研究代表者及び研究分担者）  |                                 |        |                     |       |
| 氏 名   | 所属研究機関・部局・職                     | 現在の専門  | 役割分担                |       |
| 呑海 沙織   | 助教                              | 図書館文化史 | 大学図書館の観点からの分析，とりまとめ |       |
| 溝上 智恵子  | 教授                              | 高等教育政策 | 高等教育政策の観点からの分析      |       |
| 歳森 敦  | 准教授                             | 行動モデル  | 行動モデルの観点からの分析       |       |
| 研究目的  |                                 |        |                     |       |
| <p>本研究では，学習支援空間を支える人的資源のなかでもとくに，学生スタッフの活用およびその教育訓練に関するモデルの構築を目的とする。北米のラーニング・コモンズでは，その特徴のひとつとして，学生スタッフの活用があげられる。ラーニング・コモンズのヘルプ・デスクでは，図書館員とともに，<u>一定の訓練を受けた学生アシスタント</u>がピア・ヘルプを行っている。人的資源としての学生スタッフの活用は，1) 質問する学生に身近な質問しやすい環境をつくるとともに，2) 学生スタッフへ学部や学年を越えたコミュニケーションやキャンパス内での収入機会を与え，更には，3) 図書館にとっても人的資源の質的・量的不足の解消という，win-win-win の関係を実現することができる。しかし，これはあくまでも学生スタッフに対する十分な教育訓練システムが構築されていることを前提とする。</p> <p>日本においても，ラーニング・コモンズに学生スタッフが導入されているところがあるが，教育訓練システムの構築などその実態は明らかにされていない。そこで本研究では，日本の高等教育機関に設置されている図書館における学習支援空間の実態および当空間における人的支援の活用についての実態調査を行う。</p>  |                                 |        |                     |       |
| 研究成果  |                                 |        |                     |       |
| <p>A. 日本の高等教育機関に設置されている図書館における学習支援空間の実態を量的に把握するために，下記のような2つの質問紙調査（悉皆調査）を行った。</p> <p>1) 四年制大学に設置されている図書館（複数設置されている場合は中央館的機能をもつ図書館）755 館を対象とする。調査期間は，2010年7月26日から8月31日まで。</p> <p>2) 高等専門学校および短期大学に設置されている図書館（複数設置されている場合は中央館的機能をもつ図書館）321 館を対象とする。調査期間は，2011年2月25日から3月20日まで。</p> <p>B. 日本の高等教育機関に設置されている図書館における学習支援空間の実態を質的に把握するために，学習支援担当の図書館員等にインタビュー調査を行った。</p> <p>1) お茶の水女子大学附属図書館（2010年7月8日15：30～18：00）</p> <p>2) 三重大学高等教育創造開発センター（2010年7月22日16：30～18：00）</p> <p>3) 大阪大学総合図書館，理工学図書館（2010年7月22日10：00～12：00，13：30～15：00）</p> <p>4) 横浜国立大学附属図書館（7月28日13：30～15：30）</p> <p>5) 新潟大学附属図書館（2010年12月6日10：30～12：00）</p> <p>6) 金沢工業大学図書館（2010年12月7日10：00～12：00）</p> <p>7) 金沢大学附属図書館（2010年12月7日14：00～16：00）</p> <p>8) 東京女子大学図書館（2010年12月16日15：30～18：00）</p> |                                 |        |                     |       |

代表的な研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等

- 1) 呑海沙織・溝上智恵子.大学図書館のラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの意義. 図書館界, 63(2), 2011.7 (掲載予定)
- 2) 呑海沙織・溝上智恵子.大学図書館のラーニング・コモンズにおける学生アシスタントの可能性. 日本図書館研究会 研究大会, 2011.02.19, 大阪 (相愛大学)